

【文章A】

ペットが持つ力

大沢 南

日本は今空前のペットブームが起きていると言われていています。癒しを与えてくれる家族の一員として、犬や猫を飼う人は多い。マンションやアパートなどの室内でも飼えるハムスターやウサギなどの小動物も人気が高まっている。ペットを飼う理由には、日々の疲れの癒しとしてや、子どもの情操教育のため、動物好きだからといった理由です。私もウサギを飼っているが、餌を食べる姿、寝ている姿を見ているだけで癒しの力がある。動物と触れあうことで高齢者や難病を抱える人が生きる気力を取り戻すというアニマルセラピーも納得できる。それに、動物にはそういう力があると思う。しかし、ペットを捨てる人や動物を虐待する人などの問題は依然として消えない。ペットショップでは小さい時期にしか売れないので、早くに母親から引き離したり、売れ残ってしまった動物を殺処分してしまうのは、可哀相で許せないし、劣悪な環境で繁殖を繰り返す悪質なブリーダーもいる。そんな中、動物愛護団体が動物の権利を守るために活動したり、保護した動物の里親を見つけて譲渡したりする活動をしているのはとてもすばらしいと思う。動物の可愛い姿を見ると飼いたくなる気持ちはわかるけど、動物と人間と一緒に幸せに暮らすために、本当に最後まで面倒が見られるのか、よく考えるべきだと思います。

(547 字)

【文章B】

ペットを飼う前に考えるべきこと
-近隣トラブルとペットの介護問題-

東 京子

動物の可愛い姿を取り上げるテレビ番組も増え、日本は今、空前のペットブームが起きていると言われている。しかし、「可愛い」だけで飼ってしまったがゆえに飼いきれず、遺棄してしまう飼い主も一定数いる。ペットと人が幸せに暮らすために、本当に最後まで責任を持って飼育することができるのか、ペットを迎える前にしっかりと考えておく必要がある。本レポートでは、ペットを飼うことで起こり得る問題を挙げる。

まず、ペットをめぐる近隣トラブルである。特に都市部では、戸建てでも隣家との距離が近かったり、マンションなどでのペットの室内飼いが増えたりすることで、ペットのにおいや音、毛、アレルギーなど、近隣トラブルが起きやすい。トラブルを避けるためにも、ペット可物件なのかはもちろん、まわりにどのような配慮が必要か調べておく必要がある。

次に、ペットの長寿化がもたらす介護問題である。ペットフードの品質向上、獣医学の進歩などにより、ペットの平均寿命は大きく伸びている。ペットが長生きすることは喜ばしい反面、病気や介護問題にも向き合う必要が出てくる。実際、「介護が必要なペットの面倒が見きれなくなったという理由での遺棄も少なくない」(大森 2016、p.24) という。当然だが、ペットも年をとることを知り、それに寄り添う覚悟が重要である。

このように、ペットを飼うことには、近隣トラブルやペットの介護など様々な問題が起こり得る。しかし、ペットとの生活から得る喜びや発見は大きいのも事実である。飼う前にしっかり考えることで、人もペットも共に幸せに生きることができよう。

(661 字)

参考文献

大森優 (2016) 『ペットと暮らすということ』 ぐらお出版